

令和7年度（保土ヶ谷支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底) 【必須】	公務外においても公務員・教員としての自覚を持ち行動する。	・法令に基づく義務に加え、社会規範を確認し、適宜情報提供や注意喚起を行った。 ・毎月の不祥事防止研修で啓発資料や事故・不祥事事例を取り上げ、法令遵守意識を高めた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止【必須】	相手や周囲の方の気持ちを尊重しつつ、自分の意見を素直に発信できる働きやすい職場環境を作る。	・研修会や職員啓発資料をもとに注意喚起を行うと共に、職員間で互いを気遣い相談しやすい環境づくりを行った。 ・管理職との面接等で意思疎通を図った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	職員一人ひとりが当事者意識を持って決められたルールを遵守し、未然防止に取り組む。	・指導は複数の教員で対応し、密室状態にならない環境を作った。 ・児童・生徒に対し、相談体制について周知した。 ・管理職は日常的に巡視し、指導状況を確認した。 ・職員は、常に高い倫理観を持ち、自身の行動を律し不祥事防止に努めた。
体罰・不適切な指導の防止【必須】	児童・生徒の人権を尊重した指導により、体罰や不適切な指導を防止する。	・指導は複数の教員で対応し密室状態にならない環境を作った。 ・児童・生徒に対し、相談体制について周知した。 ・児童・生徒の人権を尊重した呼称をはじめとした言葉遣い、適切な身体接触等について、同僚性を発揮しながら相互に注意し合う環境づくりを進めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	個人情報を含む書類等の作成・保管・廃棄を適正に行う。	・資料作成方法について学部等で共通理解し随時注意喚起を行った。 ・作業中の保管、印刷後の管理、誤配付がないように複数人で点検し、作業を進めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	・サーバー及び電子データの定期的な点検管理を行った。 ・個別教育計画や相談記録等の個人情報の適正な管理・運用と環境整備を行った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを徹底する。	・職員啓発資料等により随時注意喚起を行い、職員の交通安全意識の向上・事故防止の徹底を図った。
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	日常的に情報共有し、チームで事故を未然に防止する環境を作る。	・一人で仕事を抱え込まず、情報や計画をチームで共有し、複数で点検・確認しながら業務に取り組んだ。 ・事故・ヒヤリハット事案を検証し、事故が起きやすい場面を共有し事故防止策を講じた。
財務事務等の適正執行	公費及び私費会計の適正な執行・管理や、備品等の適正な管理を行う。	・私費会計マニュアルをもとに、会計の手続きを適正に実施した。 ・ダブルチェックにより、適正な処理を行った。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題(学校長意見)

今年度の不祥事ゼロプログラムの取組目標に関して概ね達成でき、校内での重大な事故や不祥事を未然に防ぐことができた。それは、職員一人ひとりが定期的な研修等を通じて事故不祥事防止に対する意識を向上させたことによる結果である。一方で次年度も引き続き児童・生徒の人権を大切にした指導、服務規律の徹底、職員間のハラスメント防止、組織的指導体制の強化及び個人情報の管理について重点的に取り組んでいきたい。